

紹介

アントニオ・ドミンゲス・オルティス著
(立石博高訳)

『スペイン 三千年の歴史』

今後スペイン史を学ぶものにとって指針となるべき概説書が登場した。それが、アントニオ・ドミンゲス・オルティス著、(立石博高訳)『スペイン 三千年の歴史』(Antonio Dominguez Ortiz, *España. Tres milenios de Historia*, Madrid, 2000)である。本書は、「スペイン近世史研究の泰斗」(四三〇頁)であった故ドミンゲス・オルティス教授による長年の研究成果の集大成ともいふべき書であり、それを日本におけるスペイン近世・近代史研究の第一人者、立石博高教授が翻訳されたものである。本書は全一四章から構成される。以下その内容を簡単に紹介していこう。

第一章「起源、ローマ化、西ゴートのスペイン」では、古代史がその叙述にあてられる。著者は、スペインを形成する諸民族

が外部から一つのものとして認識されたとして、「スペイン史」の出発点をケルト人とイベリア人の入植に定め、その叙述をスタートさせている。

第二章「征服と再征服」および第三章「三つの文化のスペイン」では、中世スペインにおける諸民族の混濁とその展開が描かれる。スペイン国民史の誕生以来、この時代をどのように解釈し叙述に位置づけるかについての長い論争の歴史があるが、著者はこのいわゆる「スペイン問題」について、「スペインはローマの産物であり、西洋キリスト教文化を代表してイスラームと戦うもの」と解釈する「サンチェス・アルボルノスの論に近い考えをもつ」と率直に述べている(七二―七三頁)。

続く第四章「カトリック両王のスペイン」から第九章「近世スペイン社会に関する素描」までが、著者のまさに本領発揮ともいふべき近世史にあたる。著者によって先鞭をつけられた叙述方法、すなわち、地域ごとにスペイン史を書く手法が各章で採られていることから、それは窺えるだろう。また半島内部の出来事だけではなく、新大陸との関係についても、第七章「スベ

インとインディアス」で詳しく述べられている。このなかで、例えば、スペイン帝国の建設はインディアスからの資金に大いに依存していたとする従来からの解釈を、過度の神話化と断じる件(二二七―二二八頁)など、読者の関心を引くトピックに富んでいる。

そして第一章「葛藤の時代」から第二章「アルフォンソ一三世の治世」の半ばまでは近代史が、そして第二章後半から第四章「フランコ体制」まで二〇世紀以降の現代史が描かれる。著者の半生に重なるために自伝的色合いが濃いのは、と思われたフランコ時代に関する叙述は、しかし、決して実証主義の姿勢を崩すことなくフランスの取れた筆致である。また訳者の指摘するとおり、史料に依拠した歴史の見通しをもてない事柄については明言を控えるその叙述に、著者の人柄が偲ばれる。

以上のように、本書は政治史を主軸に、文化史、社会経済史など幅広い領域を視野に収めつつ、三千年の歴史を紡いでいく大著である。その内容を四百頁ほどの紙幅に凝縮しながら、叙述自体は決して難解に陥ることはなく初学者にも親しみやすい。ま

た「訳者あとがき」では、著者の経歴と本書の史学史上の意義について詳解されており、スペイン史学史の情報に乏しいわが国の研究状況にあつては必読である。この点でも、本書の上梓が持つ学問的意義は極めて大きいと言えるだろう。

(A5版 四六四頁 昭和堂 二〇〇六年三月)

税込六三〇〇円)

(菊池信彦)

受贈誌

(二〇〇六年六月二十九日)
(二〇〇六年二月五日)

- 二一
史泉(関西大学史学・地理学会) 一〇四
東方学会報(東方学会) 九〇〜九一
東北文化研究室紀要(東北大学文学研究科
東北文化研究室) 四七
東北文化資料叢書(東北大学大学院文学研
究科東北文化研究室) 一
奈良文化財研究所紀要(奈良文化財研究
所) 二〇〇六
奈良文化財研究所概要(奈良文化財研究
所) 二〇〇六
日本音楽史研究(上野学園日本音楽資料
室) 六
日本歴史(日本歴史学編集) 六九九〜七〇
四
美術研究(東京文化財研究所) 三八九
福島大学人間発達文化学類論集(福島大学
人間発達文化学類) 一〜三
法学志林(法政大学法学志林協会) 一〇三
一〜四
立命館法政論集(立命館大学法学会) 四
龍谷史壇(龍谷大学史学会) 一二四〜一二
五
歴史(東北史学会) 一〇六
歴史研究(大阪教育大学歴史学研究室) 四
- 立命館法学(立命館大学法学会) 三〇五〜
三〇七
史迹と美術(史迹美術同致会) 七六五〜七
七〇
史学(三田史学会) 七五一〜
史学研究(広島史学研究会) 二五二〜二五
四
信濃(信濃史学会) 五八一〜七五八一〜二
飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報(奈良
県文化財研究所) 一九
大和(大神神社社務所) 一一一〜一二
海南史学(高知海南史学会) 四四
京都女子大学大学院文学研究科研究紀要史
学編(京都女子大学大学院文学研究科)
五
経済研究(九州大学経済学会) 七二〜四・
五、六合併号
経済論究(九州大学大学院経済学会) 一二
五
神戸大学史学年報(神戸大学史学研究会)